



株式会社 武蔵野フーズ

第12回病態栄養セミナー

2013.10.6 品川フロントビル






第12回 病態栄養セミナー・プログラム

日時 平成25年10月6日(日曜日)
場所 品川フロントビル会議室 港区港南2-3-13
主催 慶應義塾大学医学部 助教 税所芳史
共催 株式会社武蔵野フーズ

- 9:30 開場
10:15 開演
開催の挨拶 株式会社武蔵野フーズ
代表取締役専務 山根理
10:30 『当院の糖尿病食事指導の取り組み
糖尿病腎症・妊娠糖尿病を中心に』
慶應義塾大学病院 食養管理室
課長 鈴木和子先生
清水 真美子先生
12:00 休憩・健康宅配食ランチ
13:00 『食事療法は何故難しい？
最近の知見から食事療法の重要性についてもう一度考える』
慶應義塾大学医学部 内科学教室 腎臓内分泌代謝内科
助教 税所芳史先生
14:30 閉演



当日は病院勤務の管理栄養士様
中心に279名様の方々にお越し頂
きました。



講演プログラム ①

『当院の糖尿病食事指導の取り組み 糖尿病腎症・妊娠糖尿病を中心に』

慶應義塾大学病院 食養管理室

課長 鈴木 和子先生

清水 真美子先生



鈴木先生からは食事療法に対する院内での取り組みを、症例から詳しく、ご教授頂きました。また、清水先生からは、妊娠糖尿病をメインに現場での栄養指導に役立つ情報をお示し頂きました。

弊社の宅配食を活用した、在宅食事療法の症例や経過など、患者様の顔がみえる貴重な情報を提供下さいました。第一線でご活躍されている先生方ならではの講演に、ご来場された皆様も興味深く受講されてました。

講演プログラム ②

『食事療法は何故難しい？
最近の知見から食事療法の重要性についてもう一度考える』
慶應義塾大学医学部 内科学教室 腎臓内分泌代謝内科
助教 税所芳史先生



先生のご専門分野「 β 細胞」に関する最新情報から、食事療法についての知見や症例など、ご講演頂きました。食事療法が難しい理由や原因を突き詰めて行くと、我々日本人の食事に対する考え方や文化にたどり着く、大変内容の濃い講義内容でした。

先生の専門分野と食事療法に対する熱意が伝わる講義に、会場の皆様も熱心に聞き入っていらっしゃいました。

セミナー風景



当日は満員御礼となり、皆様熱心に受講頂き大盛況となりました。講演の終わりに質疑応答が活発に行われ、休憩時間も先生方と話しこまれる場面もありました。



展示コーナーには健康宅配の主力商品の日替わり献立の糖尿病食、腎臓病食タイプを展示。新発売のやわらか食の展示も好評でした。



ランチオンセミナーでは糖尿病食の「すこやか膳」をご試食頂きました。鮭の季節感のあるメニューが好評でした。日替わり献立の冷蔵食の魅力、手軽な冷凍食を、そして美味しさを広めて行きたいと思えます。



税所先生 鈴木先生 清水先生

専務 梶

専務 山根

健康宅配